

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	倫理
科目基礎情報						
科目番号	0035		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	越智貢ほか著「高等学校 改訂版 倫理」(第一学習社)					
担当教員	富田 詩郎					
到達目標						
古今東西の様々な思想の概要・背景・影響などを説明でき、それらに対する自分の意見を述べることができる						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		古今東西の様々な思想の概要・背景・影響などをとてもよく説明できる	古今東西の様々な思想の概要・背景・影響などを説明できる	古今東西の様々な思想の概要・背景・影響などを説明できない		
評価項目2		古今東西の様々な思想の概要・背景・影響などに対する自分の意見を的確に述べることができる	古今東西の様々な思想の概要・背景・影響などに対する自分の意見を述べることができる	古今東西の様々な思想の概要・背景・影響などに対する自分の意見を述べることができない		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	古来の東西の伝統的思考法、人間についての理解、宗教などについて通史的に理解する。					
授業の進め方・方法	教員単独。講義を中心とする。					
注意点	講義プリントや資料などの保存・整理を怠らないこと。授業への参加の態様も評価の対象となる。授業計画は理解度・関心度などに応じて適宜、変更されることがある。 評価が60点に満たないときは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 倫理を学ぶ意義	学習・評価方法のガイダンス 倫理を人間・社会・世界・自然などの理解の試みとしてとらえる視点を理解する		
		2週	青年期とは何か 青年期の思考と感情	青年期の思考と行動の特徴		
		3週	青年期の人間関係 青年期の自己形成	発達段階の途上としての青年期の課題		
		4週	古代ギリシアの思想 自然哲学・ソフィスト	哲学がどのように形作られてきたか テーマの変遷と思考法の変遷		
		5週	ソフィストの思想 ソクラテス	理性の位置づけ 相対主義 ソクラテスの「無知の知」「対話法」		
		6週	プラトンの思想	プラトンの思想史的立場づけ イデア論の基本構造・洞窟の比喩・御者の比喩・プラトンの国家論		
		7週	アリストテレスの思想	イデア論批判と「現実」主義 デュナミスとエネルゲイア 実践哲学・倫理学・「中庸」		
		8週	ヘレニズムの思想	ヘレニズムの時代背景 エピクロス派の「快楽」主義 ストア派の「禁欲」主義		
	2ndQ	9週	宗教全般 キリスト教の萌芽	宗教についての基本知識 ユダヤ教の成立と限界 イエスの登場		
		10週	原始キリスト教の成立 キリスト教の発展	原始キリスト教団の成立と理論化 古代～中世のキリスト教		
		11週	イスラーム	一神教の特徴 イスラームの成立 イスラームの発展		
		12週	仏教の成立	インドの思想文化 ゴータマの教説		
		13週	仏教思想の展開	部派仏教 大乘仏教の成立と発展		
		14週	中国の思想	中国の思想文化 諸子百家 儒家の思想の成立と展開 道家の思想と影響		
		15週	期末試験			
		16週	古代思想のまとめ 成績評価・確認	古代思想の概観 特徴と現代への影響		
後期	3rdQ	1週	日本の風土と伝統	和辻哲郎の風土論 雑種文化論 東アジアの文化		
		2週	日本仏教の展開	古代の仏教受容 鎌倉新仏教の思想 世俗との接点		
		3週	日本儒学の展開 近世の庶民思想	朱子学の特徴 義理と人情 国学の成立 庶民の思想 伝統思想の成熟		

4thQ		4週	西洋思想との出会い	幕末の思想 明治の啓蒙思想 日本社会とキリスト教 近代的自我の確立 社会思想の展開 近代日本の思想課題
		5週	ルネサンスと宗教改革 人間性の探究	ルネサンスの意義 プロテスタントの成立 世俗主義 人文主義者 モラリスト
		6週	近代の科学革命	コペルニクス ガリレイ ニュートン 目的論的自然観と機械論的自然観 パラダイムの転換
		7週	イギリス経験論	ベーコンの「イドラ」説と帰納法 ロック・バークレー・ヒュームの認識論
		8週	デカルトと大陸合理論	方法的懐疑 近代的自我の発見 物心二元論
		9週	近代科学と社会の進歩	実証主義 進化論
		10週	社会契約の思想	ホッブズの社会契約論 ロックの社会契約論 ルソーの社会契約論
		11週	人格の尊厳と自由	カントの思想史的位置と認識論（理性批判） 自由と自律 目的の国
		12週	人倫と自由の実現 功利主義の思想	ヘーゲルの思想史的位置と弁証法 最大多数の最大幸福 快樂計算
		13週	人間性の回復	質的功利主義 社会主義の思想
		14週	主体性の確立	実存主義の思想 プラグマティズム
		15週	期末試験	
		16週	現代の思想と人間像 成績評価・確認	心の深層と無意識 生の哲学と現象学 近代的理性と言語 正義と社会 他者と偏見

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0